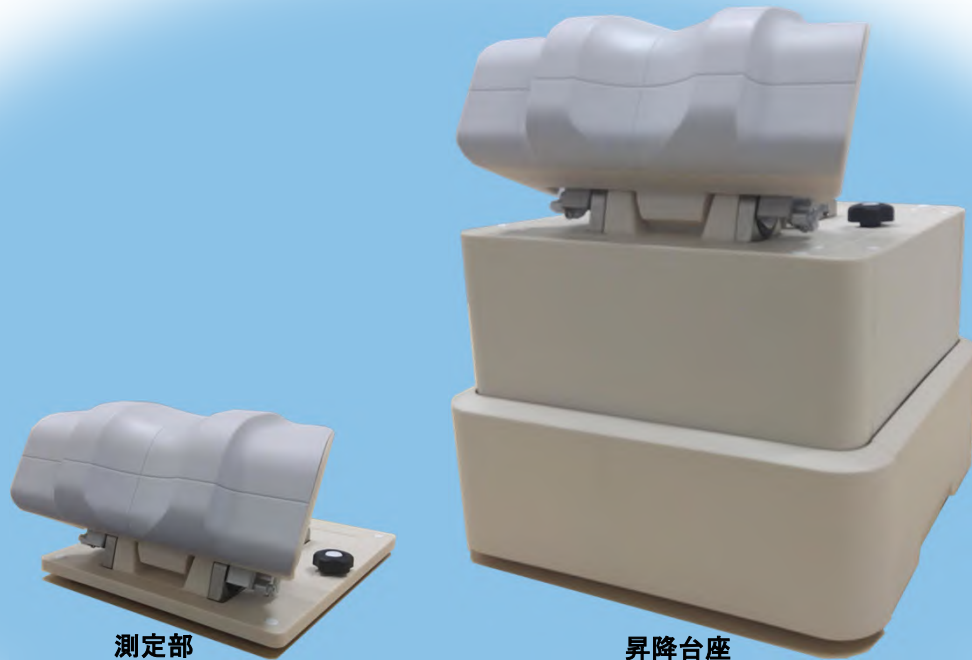


# 可搬型甲状腺モニタ

## 高バックグラウンド対応甲状腺モニタ

原子力災害時における甲状腺被ばく線量モニタリングが可能



測定部

昇降台座



小児の測定

小柄な方の測定

大柄な方の測定

### 特長

- **高バックグラウンド(BG)環境下で測定可能**  
遮蔽一体型の構造により、甲状腺以外(衣服、周囲等)からのBG放射線を低減  
分析に優れた検出器により、甲状腺の放射性ヨウ素を同定し精確に定量
- **可搬型により様々な場所へ容易に持ち込み測定が可能**  
測定部と昇降台座の分離機構により、軽量化して設置
- **測定結果から甲状腺被ばく線量(Sv)を自動計算可能**  
原子力災害対策指針に規定される甲状腺被ばく線量(甲状腺等価線量)まで自動計算
- **短時間で測定可能**  
甲状腺被ばく線量を60秒で測定

# 仕様

測定線種	γ線 ( <sup>131</sup> I)
検出部	CdZnTe(テルル化亜鉛カドミウム半導体)
測定時間	60秒
検出限界 (甲状腺等価線量)	< 10mSv (成人、4週間後の測定、BG線量率< 5μSv/h) < 100mSv (小児、4週間後の測定、BG線量率< 5μSv/h)
検出限界 (放射能)	< 65Bq (BG線量率< 0.05μSv/h) ※測定時間180秒の場合 < 35Bq < 500Bq (BG線量率< 5μSv/h) ※測定時間180秒の場合 < 300Bq
機能	体格に合わせた高さ、角度の調整 甲状腺被ばく線量(mSv)の自動計算 甲状腺放射能(測定時、摂取時)の自動計算 乳幼児の代理測定 被験者、検査員の登録 詳細ログ表示、被験者測定結果の帳票出力、詳細データのCSV出力 スペクトル表示
記録	パソコンに自動保存
電源	USBケーブルによりパソコンから供給
本体寸法・重量	寸法: 幅約35cm×奥行約36cm×高さ約28~40cm 重量: 約20kg(検出部:約10kg)
構成	測定部 1台、昇降台座 1台、パソコン 1台、BG測定用ファントム 1式、収納ケース 1箱

# 制御ソフト

測定画面

ログ画面

●この製品の仕様・外観は、予告なく変更する場合があります。

## CHIYODA TECHNOL CORPORATION

株式会社 千代田テクノロ 原子力事業本部

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-4 BIZCORE御茶ノ水

TEL 03-3518-5696

FAX 03-3518-5442

ホームページURL <http://www.c-technol.co.jp/>

G-13/01 1704 HB

